

きれいにしても、すぐごみが捨てられている
しおさい道路（関地先）



モラルはどこに…

許しません！ 不法投棄

いたる所ごみだらけ、こんな町をつくらないために不法投棄監視員、環境美化奉仕員の皆さんがごみの不法投棄の防止とごみの回収作業を毎月行っています。

8月19日、今年も大勢の海水浴客でにぎわった木戸浜海岸と、しおさい道路

（関）のごみの回収作業を行いました。

海岸にはあき缶や花火の燃えかす、砂に埋まったビニール袋などさまざまなごみ。

また、道路には50mに渡ってあき缶、ビニール袋等が点々と……。不法投棄防止の看板の下までもごみ

の山でした。

いったい誰が、ごみを捨てたのでしょうか。自然の景観を壊すうえ不衛生です。

一人ひとりがごみを「捨てない」「させない」「許さない」の心構えをもって町をきれいにしていきたいです。



親しみのある川づくりを

栗山川が、ふるさとの川整備事業認定

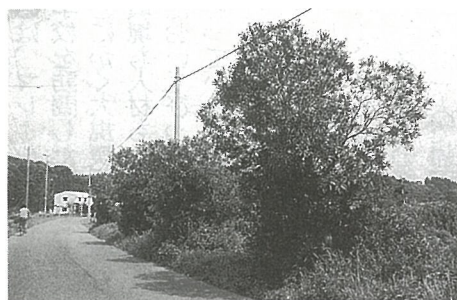
栗山川流域では、治水対策や住民に親しまれる水辺づくりを求める声が高まっています。このため平成7

年8月17日に河口より11kmの区間について、建設省の「ふるさとの川整備備河川」の指定を受け計画づくりを行ってきました。

その結果、建設省より周辺の景観やまちづくりと一体となったうおいのある水辺づくりの優れた計画であると認められ、平成9年7月31日認定されました。

今後は、栗山川の改修とあわせて、自然の景観を生かした水辺づくりを進めていきます。

栗山川は、佐原市福田付近の丘陵地に源を発し、借当川、多古橋川、光町、横芝町の町境を流れ太平洋に注ぐ延長38・8kmの二級河川です。現在は豊富な魚類を生かした釣りや、サケのさかのぼる川として親しまれています。



昔をしのぶ「夾竹桃」



「街道を花で飾ろう」と、昭和40年代当時の青年クラブの方が南条駐在所から南側の桜前踏切まで夾竹桃の苗木を植えました。あれから30年、今でも4本の木が残り暑い中、ピンクの花を咲かせています。

当時植えられた皆さん、あの街道を通って青春時代を思い出してみたいいかがですか……。

通信員 山崎幸子（台）